

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	SDGs論	担当者名	山口 章
授業の概要	SDGsを学び、考えることによって、自分たちが属する地域や組織の持続可能性に貢献する知識と考え方を鍛える。国や県、行政や企業、学校、病院など、あらゆる組織体の社会的責任はSDGs課題の解決に他ならない。そのため、気候変動など、地球規模の課題がもたらすメガトレンドに潜むリスクとチャンスを読み、何をすべきかを個々人が明確にすべきであり、これに関する一連のキーワードを理解し、持続可能な地域活性化に有効な手法を探る。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGsの基本的考え方を理解する。</li> <li>●社会情勢に関する情報収集、情報活用力をつける。</li> <li>●メガトレンドの読み方及び経営体(企業、自治体、学校等)の持続可能性を高める手法を理解する。</li> <li>●青森についてSWOT分析し、グループで話し合い、発表する。</li> <li>●日常生活において、SDGs達成に貢献する行動をとる。</li> </ul>				
DPの観点	⑤社会性(20%) ⑥専門知識・技能(20%) ⑧実践力(20%) ⑨主体性(20%) ⑩問題解決力(20%)				
授業時間外学修(予習・復習)	毎回の授業テーマについて、30分程度情報収集を事前に行い、授業で課された課題について30分程度整理する。				
フィードバックの方法	対面またはオンラインでフィードバックを行う。				
単位認定の要件	科目の到達目標達成に向けて積極的に取り組む姿勢を重視する。				
評価の方法・割合(%)	授業内での情報整理(20%)、ロイロノートのコメント(30%)、授業内筆記試験(50%)を総合的に評価する。				
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遅刻・欠席の申し出必須</li> <li>●授業中、ワードにキーワードや重要事項、検索方法等を記録し、授業ノートを作成すること</li> <li>●社会情勢に関心を持ち、メディアで情報を得るよう心がけ、それに対して自分の意見をもつこと。</li> </ul>				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション・この科目の意義・事前アンケート	⑤⑥⑨	ロイロノート
2			時代が抱える課題を考えるⅠ VUCAと社会の価値観	⑤⑥⑨	ロイロノート
3			時代が抱える課題を考えるⅡ 超高齢社会を中心に	⑤⑥⑨	ロイロノート
4			時代が抱える課題を考えるⅢ SDGs目標1～7	⑤⑥⑨	ロイロノート
5			時代が抱える課題を考えるⅣ SDGs目標8～17	⑤⑥⑨	ロイロノート
6			授業内筆記試験 SDGs基礎力診断テスト① 終了後「メタンガス」	⑤⑥⑨	ロイロノート
7			時代が抱える課題を考えるⅥ 持続可能性とは何か	⑤⑥⑨	ロイロノート
8			時代が抱える課題を考えるⅦ 気候変動、プラスチック問題	⑤⑥⑨	ロイロノート
9			時代が抱える課題を考えるⅧ SDGsへの国内外の取組	⑤⑥⑨	ロイロノート
10			授業内筆記試験 SDGs基礎力診断テスト② 終了後「パーム油」	⑤⑥⑨	ロイロノート
11			時代が抱える課題を考えるⅨ ESGとCSR、国際的ガイドライン	⑤⑥⑧⑨⑩	ロイロノート
12			身近な課題 稲作と畜産・アニマルウェルフェア・養殖・ゲノム編集	⑤⑥⑧⑨⑩	ロイロノート
13			IKEA Sustainability Reportから学ぶ OUTSIDE INと情報発信	⑤⑥⑧⑨⑩	ロイロノート
14			青森の持続可能性を考える SWOT分析	⑤⑥⑧⑨⑩	ロイロノート
15			地域活性化の必須3要素と行動心理学	⑤⑥⑧⑨⑩	ロイロノート
期末試験			上記評価方法で評価するので実施しない。		

使用テキスト	随時、配付する資料等
参考文献 参考URL	
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。※予定の黄色はライブオン遠隔授業。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--